

4. 南関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	-	-	-
		百貨店（営業担当）	それ以外	・全体的に好調である。特に、8月中旬に気温が下がり、秋物需要が喚起されているほか、先行販売冬物の限定商品の動きも良い。更に、例年に行わないブランドバーゲンを開催したことも、好調の要因である。
		スーパー（店長）	競争相手の様子	・競合するディスカウント店が閉店して、来客数は若干増加し、食品の売上也やや上向きである。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・来客数の増加に比し、売上の伸びが大きい。売場の工夫で、一人当たりの売上点数が増加したようである。
		乗用車販売店（販売担当）	単価の動き	・高額の新型車が非常によく売れている。
		その他専門店 [燃料]（売場主任）	お客様の様子	・今年の夏は暑く、車のクーラーを使うことが多いため、燃料の消費量が伸びている。 ・客の動きが活発になっている。
		都市型ホテル（スタッフ）	お客様の様子	・大型物件のキャンセルはあるが、個人客の利用は多い。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・夏のピーク期にもかかわらず、高い航空券やバックツアー等がよく売れている。
		その他レジャー施設 [アミューズメント]（職員）	来客数の動き	・お盆には来客数が若干少なかったが、8月最後の週末に向けて、かなり戻ってきている。
	設計事務所（所長）	お客様の様子	・このところ、順調に受注が入っている。	
	住宅販売会社（経営者）	競争相手の様子	・周りの中小同業者では、土曜日に販売を開始したら、即日完売したというケースも増加している。	
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・3か月前に比べて、契約件数が7割程度まで戻ってきている。	
	変わらない	商店街（代表者）	お客様の様子	・商店街への来客数が増える日もあれば、変わらない日もあり、一進一退を続けている。
		一般小売店 [衣料・雑貨]（経営者）	お客様の様子	・7、8月は猛暑続きで客足が鈍く、値頃感のある単品しか売れず、売上は昨年度実績を割り込んでいる。
		一般小売店 [茶]（営業担当）	単価の動き	・客の購入が、低単価商品と高単価商品の両極に分かれている。全体的には、低単価商品の方が多く動いている。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・好調な商品とそうでない商品が明確である。キャリア系の秋物、輸入商品の秋物は好調であるが、主力商品や国産のプレタポルテはまだ厳しい。
		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・8月中旬までは好調に推移したが、残暑などの影響もあり、下旬の売上は悪化している。婦人雑貨類は比較的健闘しているものの、主力の婦人衣料が厳しく、不況にも強かった化粧品伸びも止まっている。全体としては厳しい状況で変わらない。
		百貨店（広報担当）	販売量の動き	・連日の猛暑で、夏物衣料を中心に売上が伸びているが、営業日増加等の要因を差し引けば、前年を若干下回る状況で、依然として消費に力強さはない。
		百貨店（営業企画担当）	販売量の動き	・服飾雑貨が好調で、紳士服は前年並みであるが、婦人服についてはセール、秋物ともに振るわない。
百貨店（営業企画担当）		お客様の様子	・安・近・短傾向により、8月の帰省ギフト商戦が前年の8割程度と、盛り上がり欠けている。帰省ギフトの内容も、低単価で見た目の大きい商品が好まれ、客が消費を抑える傾向が続いている。	
スーパー（経営者）		単価の動き	・来客数、販売数はほぼ横ばいが、やや上向きであるが、単価が低いために、8月の売上は前年を下回っている。客の選択が、安い商品に向かっている。	
スーパー（店長）		来客数の動き	・衣料品の売上が昨年を下回り、住居関連、食品関連は上回っている。 ・来客数は増加しているが、販売単価が低下しているため、全体の売上は昨年と同水準であり、この傾向は6、7月と変わっていない。	

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		スーパー（店長）	販売量の動き	・好天が続き、水着、帽子、パラソル等の衣料品が絶好調で、飲料も好調であるが、食料品は魚、肉が不振である。全体的には、単価の低下が続いている。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・食品は非常に好調であるが、台風の影響などで衣料品の売上が大きく落ち込んでいる。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・お盆の時期には、例年かなりの販売量があるが、今年は進物の動きが悪く、かなりの売れ残りが出ている。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・来客数が若干減少しているが、それ以上に、客の買上単価が伸び悩んでいる。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・猛暑で夏物衣料の動きが良く、商品はなくなったが、単価があまりにも低く、売上は前年比5%減になっている。
		乗用車販売店（総務担当）	単価の動き	・新車の販売台数が71.4%、売上高は68.9%と落ち込み、売上単価も10万円程度低下しており、悪い状態が変わらない。
		その他専門店〔眼鏡〕（店員）	販売量の動き	・低価格ショップの出店攻勢と、価格に対する消費者の不信が、買い控え、購入意欲の低下を招いている。業界全体としても、厳しい状況にある。
		一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・夜の営業品目が、アルコールより食事主体になっている。
		一般レストラン（経営者）	競争相手の様子	・周囲地域では、廃業した飲食店の後に新規出店が相次ぎ、競合店で少ない客を取り合っている。
		旅行代理店（支店長）	販売量の動き	・海外旅行の伸び悩みが続いている。
		旅行代理店（従業員）	お客様の様子	・8月後半の個人旅行の動きが低調である。
		タクシー運転手	来客数の動き	・近距離であれば歩いている人が多くみられ、夜遅くにはほとんど客がいない。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・加入数の増加がみられない中で、解約は依然として増加傾向にある。
		ゴルフ練習場（従業員）	競争相手の様子	・暑い日が続いており、競争相手や他の施設も良い状況にない。
		パチンコ店（経営者）	競争相手の様子	・改装のため、周辺の店舗が一時休業したが、来客数が増加していない。
		その他レジャー施設（経営者）	単価の動き	・お盆明けに、1週間続けて単価の高い客が何組も来たが、その前はずっと暇であり、全体として景気が悪い状況に変わりない。
		その他レジャー施設（経営企画担当）	お客様の様子	・購買が殺到する商品と、全くニーズのない商品の差が大きく、消費者は商品を厳選している。
		設計事務所（所長）	競争相手の様子	・建築も設計も仕事が少なく、どこの事務所も、いつつぶれるかという状況で、明るい兆しはない。
		住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・この数か月、毎月のように広告を出しているが、来客数は増加しない。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・受注単価は前年比5%低下しているが、受注件数は横ばいである。
	やや悪くなっている	一般小売店〔雑貨〕（経営者）	競争相手の様子	・新しい商品や売れ筋商品が全く出てこない。競争相手にも倒産、廃業、焦げ付きなどの話が多く、業界全体が停滞している。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・残暑が厳しい中、夏物商品は息切れし、秋物の正規価格品の出足も非常に悪い。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・今まで好調であった食料品が、伸び悩んでいる。 ・夏物バーゲン前半が好調であったが、後半は秋物の正規価格品に力を入れたこともあり、息切れしている。 ・お盆の来客数は、例年になく少なく、売上が全体的に低迷している。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・季節商品処分のためのセールを行っているが、価格が下がっても大量買い、まとめ買いがない。価格訴求だけでは売上や販売量の増加に結び付かず、厳しい。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・牛肉の売上は8割程度にまで回復していたが、県内で狂牛病の牛が発見されたり、大手食品メーカーの事件で商品撤去が行われるなど、食肉業界への不信感が再燃し、売上が減少している。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・弁当その他の商品を複数買う人が少なくなっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・8月のセールは悲惨な状況である。客が無駄な物は購入せず、価格面でも大変シビアになっている。猛暑でサマーニットが売れ残っている。 ・業界全体でセール開始が早かったため、8月が従来型の商戦ではなくなっている。
		家電量販店（営業部長）	販売量の動き	・8月に入ってもエアコンは好調で、乾燥機付一体型の洗濯機も単価を押し上げている。また、大画面薄型テレビがブームになりつつある。その反面、オーディオ関連、カメラ、時計などの単価下落が響き、全体では苦戦している。
		家電量販店（店員）	競争相手の様子	・各家電量販店では、店頭価格より更に10～20%安くしており、粗利が取れない。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・高価格帯の車両の販売に陰りがみえる。
		その他専門店【ドラッグストア】（経営者）	競争相手の様子	・8月に近所の同業者が2軒、コンビニエンスストアも2軒閉店している。
		高級レストラン（経営者）	単価の動き	・客単価が極端に低く、全体的に売上が伸びない。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・8月はケイタリングもほとんどなく、2、3か月前と比較すると、かなり悪くなっている。
		都市型ホテル（スタッフ）	来客数の動き	・競合相手の出現によって、来客数の減少が続き、単価もなかなか下げ止まらない。
		その他サービス【学習塾】（経営者）	来客数の動き	・広告宣伝を行っても、問い合わせの件数が減少している。
		悪くなっている	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き
	衣料品専門店（販売担当）		来客数の動き	・来客数が減少し、客単価も低下している。中旬以降の涼しい時期には、秋物が少し動いたが、残暑が戻り、最終処分価格の夏物商品では売上が伸びず、苦戦している。
	自動車備品販売店（経理担当）		単価の動き	・我々の仕入単価よりもかなり安い価格で販売している店があり、危機感を感じている。
	スナック（経営者）		来客数の動き	・毎年8月は、他のレジャーに客を取られるが、今年は例年以上に来客数が少ない。
	タクシー運転手		お客様の様子	・近年にない落ち込みで、売上が10%以上の減少になっている。どこで歯止めがかかるか分からない。
美容室（経営者）	来客数の動き		・客の来店サイクルが長くなっている。	
企業動向関連	良くなっている	-	-	-
		やや良くなっている	その他サービス業【情報サービス】（従業員）	取引先の様子
	変わらない	繊維工業（経営者）	取引先の様子	・デフレが続く中、商品価格を下げるために、工賃を少し下げよう言われており、非常に苦労している。
		出版・印刷・同関連産業（営業担当）	受注価格や販売価格の動き	・例年の8月には、会社設立の動きはなかったが、今年は3件ある。そのうちの1件では、リフォーム関連の子会社設立のため、象牙を使った7万6千円の設立印の発注を受けている。
		プラスチック製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・受注量は増加しているが、値下げの要請も来ている。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・空調機器の市場が縮小しているため、各社とも安値の受注合戦を繰り広げており、よほどの努力をしない限り、収益が伸びる状況にない。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・売上は5月比で90%に減少しているが、納品が9月にずれ込んだためであり、全体的は変わらない。
		建設業（経理担当）	受注価格や販売価格の動き	・見積依頼は多少あるが、ダンピングで応じる業者が必ずいるため、適正価格での受注ができない。
		輸送業（総務担当）	取引先の様子	・得意先の新規物件を受注したが、値引き要請が強く、単価は低い。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		不動産業（総務担当）	それ以外	・自社で販売しているマンションの売れ筋が、低価格帯に偏っている。
		税理士	取引先の様子	・客の話では、製造業においては中国等アジアへの移転が進み、価格の低下が顕著であり、利益が薄く、手形による支払い等、条件も非常に悪いようである。それでも仕事を取れるだけまして、取れない事業所はつぶれるしかないとのことで、非常に厳しい。
		その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・懸命に努力しているが、相変わらず受注量や販売量の動きが悪い。例年より2、3割減少している状態が続いている。
		その他サービス〔建設機械リース〕（経営者）	競争相手の様子	・レンタル機の稼働率が低下しており、上昇に転じる様子がみられない。
	やや悪くなっている	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	それ以外	・塗工紙と呼ばれる高級紙の需要が減少し、倒産した塗工紙会社もある。
		輸送業（経営者）	競争相手の様子	・お盆までは多少運送量もあったが、盆明けの立ち上がりが悪く、受注量が減少している。 ・最近になって、同業者間の値引競争が一層激しくなっている。
		金融業（審査担当）	取引先の様子	・建設業を中心に倒産が増加しており、関連倒産の危険性がある。
		金融業（渉外担当）	取引先の様子	・大手食品メーカーの不祥事の影響で、食品に対する不信感が強まっており、スーパーへの納入業者は高品質、低価格は最低条件として、それ以上に何をアピールするかが問われる厳しい時代になっている。
		金融業（得意先担当）	競争相手の様子	・融資の返済が遅れる客が増加している。
		広告代理店（営業担当）	競争相手の様子	・今まで競合相手にならなかった、大規模な企業が参入してくるようになっている。
悪くなっている	出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・価格が極端に低下している。受注しても採算が合わず、7月以降は特にひどい状況である。	
	金属製品製造業（経営者）	取引先の様子	・多種少量生産の物件も、外国へ発注するようになってきている。	
	通信業（経営者）	受注量や販売量の動き	・このままでは、従業員を解雇せざるを得ない状況にまできている。同業他社も、資金繰りがひっ迫しているようである。	
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	人材派遣会社（社員）	採用者数の動き	・半導体メーカーの採用者数が上向きになっている。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・前年同月比の新規求職者数が、今年度初めてマイナスとなり、マイナス幅も7%程度と広がっている。新規求人数は、2か月連続で増加している。
	変わらない	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・派遣依頼は決して少なくないが、派遣先が多くの派遣会社に対して依頼をしているため、1社当たりの実質的な求人数はむしろ減少傾向にある。ただし、一部の業界では一通りの人員整理が終わり、人員不足分を派遣に頼るケースも出てきている。
		求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・物流部門で求人数が少ない。物流がないということは、製造業も動いていない。 ・夜間の仕事の求人数は6月から激減していて、平成始まって以来の水準である。
		求人情報誌製作会社（営業担当）	それ以外	・人材採用はしたいが、費用を抑えたいと考える企業が増加している。 ・インターネットの普及により、求人側の求人方法の選択肢が広がっている。
		職業安定所（職員）	周辺企業の様子	・管内において、電機製造業の工場閉鎖が予定されている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・製造業関連求人の伸びが止まっており、勢いが感じられない。 ・自動車製造関連では、受注の増加を背景とした期間雇用の求人ニーズが続いている。
		民間職業紹介機関（経営者）	採用者数の動き	・求人企業の採用基準が高く、企業側がなかなか決断しない。採用をしなくてもどうにかなるということで、判断はかなり慎重になっている。

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
		学校 [短期大学] (総務担)	求人数の動き	・求人票の着信数が、8月も27%減少している。
	やや悪くなっている			
	悪くなっている	職業安定所 (所長)	求職者数の動き	・新規求人が2か月連続で減少している中で、新規求職者の増加幅が拡大している。